

平成26年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コース B 日程入学試験第 2 次選抜

民事系科目

時 間 9 : 3 0 ~ 1 2 : 4 0

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあつたら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で5枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～5の5つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。なお、解答用紙が足りなくなった場合は、解答用紙の追加分を渡しますので、監督者に挙手で合図してください。解答用紙の追加分を使用する場合は必ず、上段の問題番号記載欄に、対応する問題番号を記入してください。
9. 試験時間は、190分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の5問、問題1から問題5にすべて解答せよ。
(配点：全問とも50点)

問題1

以下の事実関係を読み、設問に答えなさい。

【事実関係】

Aは、その所有地(以下、「本件土地」と称する)をBに賃貸し、Bは本件土地上に建物(以下、「本件建物」と称する)を建てて居住していた(建物について保存登記済み)。その後、Bは、自己の経営する工場について事業資金を調達するためにCから融資を受け、本件建物上にCのために抵当権を設定した。Bは、期限までにCに弁済できなかったため、Cはこの抵当権を実行し、Dが本件建物を買受けた。ところが、Aは、Dに対して本件建物の収去および本件土地の明渡しを請求してきた。

〔設問〕

Aの請求は認められるであろうか。借地借家法にも適宜触れながら論じなさい。

問題 2

以下の事実関係を読み、設問に答えなさい。

【事実関係】

Aは著名な写真家である。芸能事務所Bは、事務所に所属する女優Cの年末公開の映画のポスター写真の撮影をAに依頼した。AB間の契約内容は、Aは2013年11月15日に、都内の甲スタジオで、Cのポスター用写真を撮影し、BはAに対して報酬50万円を支払うというものであった。

ところが、撮影予定日の数日前からCの機嫌が悪くなり、前日にCは海外旅行に行ってしまう、もはや年内に映画のポスターを撮影することは不可能になった。

11月15日の撮影が中止になったため、Aは、以前から頼まれていた、IT企業の社長の社内広報の撮影を急遽行い、100万円の報酬を得た。

〔設問〕

AはBに対して50万円の報酬を請求できるか。また、Aが得た100万円の報酬についてはどうなるか、具体的結論の妥当性についても留意したうえで答えなさい。

問題3

以下の事実関係を読み、設問に答えなさい。

【事実関係】

Aには、妻Bと2人の子C、Dがいる。Aが死亡し、B、C、Dが協議をした結果、Aの遺産である甲地をCが単独で取得するとの遺産分割が成立した。しかし、Cがこの遺産分割協議に従った甲地の登記を備えない間に、Bの債権者Eが、代位申請により、甲地につきB、C、Dが法定相続分どおりの持分を有する旨の共同相続登記をなし、この登記に応じたBの持分を差し押さえて、差押登記を了した。

〔設問〕

この場合において、Cは、自分が甲地の単独所有者であることをEに対して主張することができるか。

問題4（〔設問1〕20点、〔設問2〕30点）

各設問に答えなさい。

〔設問1〕

会社法上の募集新株予約権という概念について、新株予約権（会社法2条21号）という概念との関係を踏まえて説明しなさい。

〔設問2〕

無効な手形と白地手形の違いについて、約束手形の要件を前提に説明しなさい。

問題5

係属中の別訴において訴訟物となっている債権を自働債権として他の訴訟において相殺の抗弁を主張することは許されるか。反対説をふまえつつ、自説を論じなさい。